

北海道夕張高等学校

教頭 信清 昭人

現在（全校生徒74名）の生徒達は地域の希望の灯となるよう挑戦を続けています。日々の学習はもちろん、各種行事や部活動においても少人数を言い訳にしない主体的な活動がなされています。



学校祭での全校よさこい披露、地域ボランティア活動など、地域を大切にし積極的に他者と関わる活動は、生徒の豊かな人間性と基本的な生活習慣の獲得をベースに、社会人として求められる基礎的な力を身につけることを目指しています。

P T Aとしましても地域と学校との連携や活動をバックアップしています。

そのような生徒の活動とP T Aの活動を紹介します。

1 地域社会との連携

夕張市と連携して市の施設設計に関わる授業や地域人材を活用した授業を実施し、学習に対する主体性を養い、さらに自らが行政に参加する意義や姿勢を養っています。

①夕張キャンプ（東京都教育委員会主催）での都立高校生とのプレゼン大会で、夕張の様々な提言を行いました。

②東京都立八丈高校との相互短期交換留学（P T A主催）を実施しており、今年度は2回目になります。

③市と協同してバスまちスポット内部空間デザインを担当し、実際に建設されました。また、同じく若年者向け民間住宅の内部装飾選定も行っています。



④「課題研究」において地域と連携した商品開発並びに販売を計画しています。

2 P T A活動



① 全道高P連空知大会2日目分科会においてP T A会長を中心に「学校と地域とP T Aが協働した高校魅力化の取組」を発表した後ワークショップを3つの班に分かれていただき学校ごとの課題を出し合い、新たな魅力化の方向性を探りました。

②学校祭では、毎年恒例の焼き鳥と飲み物の販売、そして後夜祭でのお手伝い。体育大会でも炊き出しを多くの保護者からご協力いただいています。

③八丈高校への生徒引率につきましてもご協力いただいています。

その他P T Aだよりの発刊、各種研修会の実施等、様々な活動を通して地域と連携した取組を実践しています。

